A 試合会場レポート

試合番号 **128** 開催日 **2018/11/17**

2018-19 V.LEAGUE DIVISION1 MEN レギュラーラウンド

会場： **丸善インテックアリーナ大阪（大阪市中央体育館）**

観客数:920	開始時刻:11:00	終了時刻:12:26	試合時間:1:26	主審:浅井　唯由	副審:村中　伸

パナソニックパンサーズ

監督　：　川村　慎二
コーチ　：　古田　博幸

通算　：　**7** 勝 **0** 敗
ﾎﾟｲﾝﾄ　：　**21**

JTサンダーズ

監督　：ヴコヴィッチ　ヴェセリン
コーチ　：サトレル　ティネ

通算　：**3** 勝 **3** 敗
ﾎﾟｲﾝﾄ　：**11**

ﾎﾟｲﾝﾄ	【】内はセット時間	ﾎﾟｲﾝﾄ
3	（）内は交代選手	**0**

3	**25**	第1セット【0:26】	**20**	**0**
	25	第2セット【0:28】	**23**	
	25	第3セット【0:26】	**22**	
		第4セット【】		
		第5セット【】		

<監督コメント>

出だしが悪く、今日は自分たちで苦しい試合に持ち込んでしまった。
しかし、悪い状態から一人一人が集中しなおし、最後までよく戦ってくれた。
本日の悪いスタートを持ち越さないようしっかり気持ちを切り替え、明日の試合に臨みたい。
本日もたくさんのご声援有難うございました。明日も引き続き応援よろしくお願いします。

第1セット

25	白澤	ｸﾋﾞｱｸ	深津	中島	**20**
	大竹(新)	深津(渡辺)	劉	山本(武智)	
	福澤	山内	小野寺	ｴﾄﾞｶﾞｰ	

リベロ: 永野　　リベロ: 井上(航)

第2セット

25	白澤	ｸﾋﾞｱｸ	劉(山本)	深津	**23**
	大竹(新)	深津(渡辺)	小野寺	中島(久原)	
	福澤	山内	ｴﾄﾞｶﾞｰ	武智	

リベロ: 永野　　リベロ: 井上(航)

第3セット

25	白澤	ｸﾋﾞｱｸ(久原)	深津(八子)	安永	**22**
	大竹	深津(渡辺)	劉(山本)	武智	
	福澤	山内	小野寺	ｴﾄﾞｶﾞｰ	

リベロ: 永野　　リベロ: 井上(航)、唐川

第4セット

リベロ:　　リベロ:

第5セット

リベロ:　　リベロ:

<監督コメント>

パナソニックにはおめでとうと言いたい。今日、彼らは勝利に値するチームだった。
正直言って私たちは満足できなかった。大事なところで決めきることができず、数あるチャンスを生かしきれなかった。
ファンの皆さま、ご声援有難うございました。明日も応援お願いいたします。

<要約レポート>

勝って勢いをつけたいJTサンダーズとパナソニックパンサーズの一戦。
第１セット、初盤JTは強弱を交ぜたエドガーのスパイクや小野寺のブロックなどで得点を重ねリードする。一方のパナソニックはクビアクや福澤にボールを集め５連続得点を奪い流れをつかむと、一時は６点差あった得点をひっくり返し、このセットをものにした。
第２セット、パナソニックは深津の多彩なトスワークで相手ブロックを翻弄するが、JTは拾って繋ぐ全員バレーで応戦。終盤まで両チーム譲らぬ展開が続いたが、最後は福澤がスパイクを決め、パナソニックがセットを連取する。
第３セット、あとがないJTはスターティングメンバーに安永を起用。武智やエドガーの強烈なスパイクで反撃し逆転。一時は流れを引き寄せたかに思えたが、パナソニックは山内のセンター攻撃やクビアクのバックアタックが要所要所で決まり、最後は大竹のサービスエースで勝利し、開幕７連勝とした。

作成者 ： 川合　加織

※本票の著作権は一般社団法人ジャパンバレーボールリーグに帰属します。